



◎ 上記提案を受け 山田自治会の現状として

文書作成：山田自治会担当役員

松茸山保全事業

- 山田自治会はかつて大いなる恵みがあった松茸山の20年30年先を見越した復活保全活動を積極的に行っています。
- 松くい虫被害予防の樹幹注入薬剤を上田市に申請・支給（本年別所分合わせ500本）を受けています。
- 樹幹注入作業は、冬季中の実施が有効的であるが、それに伴う樹幹注入対象木の選定、樹幹注入作業、注入薬剤容器の撤去、は役員（共有地・土木・自治会長・副会長・協議員）が行っている。しかしながら、雪・氷の山中仕事で負担や気苦労が多いです。
- 山の手入れは 毎春に自治会員義務人足をつのり、松茸小屋周辺ほか整備作業を行っています。
- 昨年は子や孫の笑顔を想像しながら、被害木撤去箇所に耐性松300本を定植しました。しかし周辺の広葉樹や下草の除去労務が実施されなければ、このままでは枯れる恐れがあります。
- 追って生じてくる松くい被害木の除伐・搬出は被害拡散防止のため速やかに行うべきですが労力、予算の不足で対処が遅れています。

松茸山の収入（賃料）は自治会収入の内大きなウェイトを占めており松茸小屋の好調な営業は欠くべからずと考えます。インターネットでお客様は、地産のホンモノを求め、手入れをした景色の良い山をちゃんと調べてやって来ます。しっかりとお応えしなければなりません。

- ・ 長野大学の活動拠点として山田地区を設定することで、山田地区は人材不足の解消や観光誘致策として、長野大学は地域課題解決策を導き出すための研究活動を実施できる win-win の関係が構築出来ます。山田の子供たちもお兄ちゃんお姉ちゃんたちと一緒に学びましょう。

事業の責任者； 依田 達雄 山田自治会長  
 （副）金井 敏彦 副自治会長  
 担当役員 吉田 敏八 共有地係  
 // 川田 富夫 協議員

